

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	153.50
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	153.30	1.0647	163.30	1.2462	0.6475
SYD-NY High	154.45	1.0665	164.42	1.2498	0.6493
SYD-NY Low	152.93	1.0621	162.75	1.2436	0.6438
NY 5:00 PM	154.28	1.0625	164.04	1.2477	0.6443
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,735.11	▲ 248.13	日本2年債	0.2700%	0.0000%
NASDAQ	15,885.02	▲ 290.07	日本10年債	0.8600%	0.0000%
S&P	5,061.82	▲ 61.59	米国2年債	4.9226%	0.0292%
日経平均	39,232.80	▲ 290.75	米国5年債	4.6262%	0.0741%
TOPIX	2,753.20	▲ 6.44	米国10年債	4.6086%	0.0921%
シカゴ日経先物	38,735.00	▲ 165.00	独10年債	2.4315%	0.0745%
ロンドンFT	7,965.53	▲ 30.05	英10年債	4.2380%	0.1055%
DAX	18,026.58	96.26	豪10年債	4.2490%	▲0.0460%
ハンセン指数	16,600.46	▲ 121.23	USDJPY 1M Vol	9.41%	0.76%
上海総合	3,057.38	37.90	USDJPY 3M Vol	9.14%	0.27%
NY金	2,383.00	8.90	USDJPY 6M Vol	9.29%	0.36%
WTI	85.41	▲ 0.25	USDJPY 1M 25RR	▲1.65%	Yen Call Over
CRB指数	298.18	0.31	EURJPY 3M Vol	9.18%	0.36%
ドルインデックス	106.21	0.17	EURJPY 6M Vol	9.35%	0.22%

東京	週明け取引量が薄いオセアニア市場で152.93をつけた後、153.30レベルで東京市場オープン、直後に付けた153.29が東京安値に。朝方から一貫して買いあがっていく展開。10時過ぎに153.50付近のストップを巻き込みながら一段と上昇。その後若干調整を挟むも、クロス/円の買いや株高でドル/円もじり高。153.87まで上昇した後、153.84レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、153.84レベルでオープン。中東での地政学リスクが燃る中、問題のエスカレーションを防ごうとする世界的な気運を受けてか欧州株はリスクオン一方で為替は全般に動意薄。日本金融当局が米韓当局と連携する準備、とのヘッドラインにもドル円の反応は特段見られず153.91レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	週明けの海外市場のドル円は、イランによるイスラエルの攻撃がリスク回避の動きには繋がらず、円売りに下値をサポートされ、153.97まで上昇し、153.91レベルでNYオープン。朝方は4月NY連銀製造業景況指数が予想を下回るものの、同時に発表された3月小売売上高がヘッドライン、除く自動車ともに予想を上回り、154.45まで上昇する。このレベルは日銀の介入警戒もあり、上値が抑えられる中、イスラエルの国防相がイランに対しては報復しか選択肢はないと米国に伝えたとの報道を受け、リスク回避の動きに153.86まで下落するが、その後のフォローはなく、午後は154.20付近での推移が続き、154.28レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.0654レベルでNYオープン。朝方は、米小売売上高結果を受けたドル買いに1.0632まで下落する。一旦1.0660まで戻す局面もあったが、前述のイスラエルのニュースを受けた有事のドル買いに1.0622まで反落する。昼頃に再びショートカバーから1.0646まで戻すが、再びドル買いが持ち込まれ1.0621まで下落し、1.0625レベルでクロスした。

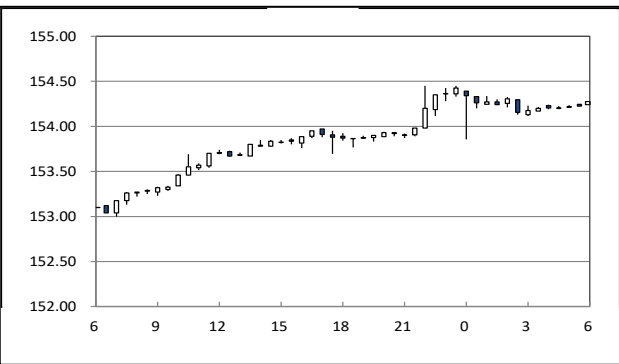
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月15日	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月	0.8%
	21:30	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	年内利下げ開始可能性高い
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	4月	-14.3
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	3月	0.7%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	3月	1.1%

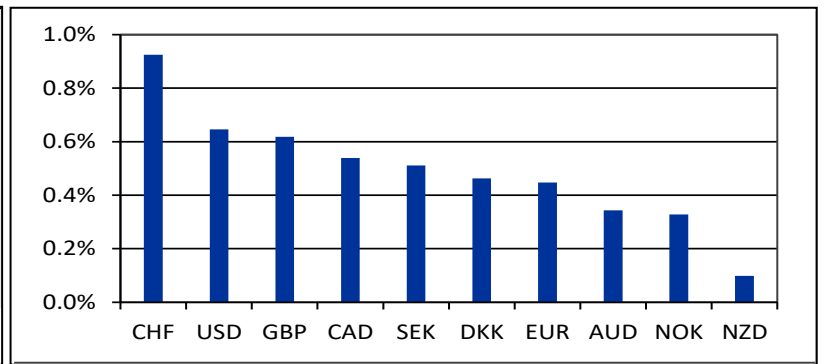
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月16日	11:00	中 GDP(前年比)	1Q	4.8%
	21:30	加 CPI(前年比)	3月	2.9%
	22:00	米 ジェファークソンFRB副議長 講演	-	-
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	3月	0.4%
4月17日	01:30	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	02:15	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-154.80	1.0570-1.0670	163.30-164.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、上値を試す展開となった。欧州時間にかけては153円台後半で底堅く推移する中、米国時間に発表された米3月小売売上高は、前月比+0.7%と市場予想の+0.3%を上回り、米景気の堅調さやインフレの高止まりが確認される形となった。ドル/円は154円台にしっかり乗せる動きとなり、FRBによる利下げ先送り観測が一段と強まる中、米長期金利が上昇する動きに伴って、ドル/円は1990年6月以来の安値を4日連続で更新、154.45円まで上値を伸ばす展開となった。本日のドル/円は上値重い展開を予想。FRBが7月も利下げを見送る可能性を市場は50%強織り込み、年内3回の利下げは困難との見方が広がっている。ドル高基調は継続すると思われる一方で、政府・日銀が介入に踏み切ると見られている155円が意識される状況下、上昇した局面では実弾介入への警戒感が重しとなって、上値追いには慎重となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。